

農業者のみならず、地域で活動されている住民・団体のみならずへ

2019(令和元)年度「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業案内

無 料

※内容により一部負担が生じる場合があります。

都市における「農」の多様な機能を発揮した取組を支援するため

都市農業やまちづくり等の専門家を派遣します

勉強会での説明
相談対応

現地での
アドバイス

取組テーマの例

- 新しい都市農業・農地制度の周知
- 生産緑地の貸借、マッチング
- 都市農業振興ビジョンづくり
- 市民農園・農業体験農園の開設
- 障害者就労と農業のマッチング
- 福祉施設と農家が連携した六次産業化
- 地域交流機能を取り入れた直売所整備
- 農家と学校が連携した食育の取り組み
- 都市農地を活用した地域防災
- 農を楽しむサービス付き高齢者住宅
- 高齢者施設への園芸療法の導入
- 空き農地を活用したテイクサービス 等々



申込受付 2020(令和2)年 2月29日まで

事業主体

一般財団法人 都市農地活用支援センター

詳しくは、裏面およびホームページをご覧ください

URL: <http://www.tosinouti.or.jp/>



関係協力団体

NPO 全国農業体験農園協会
 NPO 千葉県市民農園協会
 NPO 日本園芸福祉普及協会
 NPO HUB's (ハブズ)
 NPO 江戸東京野菜コンシェルジュ協会
 NPO 農商工連携サポートセンター
 (一財) 高齢者住宅財団
 (一社) JA経済総合研究所 高齢社会・福祉研究グループ
 (一社) ラントスケープコンサルタンツ協会
 (一社) 日本農福連携協会 (ノワフク)
 首都圏土壌医の会

※本事業は、農林水産省の「都市農業機能発揮支援事業」により実施しています。

2019(令和元)年度

『農』の機能発揮支援アドバイザー派遣事業

事業概要および申込方法

都市農業の多様な機能(産直、防災、環境、農業体験、学習、福祉、交流等)を発揮した取組を支援するため、都市農業者や市民等のみならずからのご依頼(申込)により、当センターが都市農業・まちづくり等の専門家を派遣し、勉強会等での説明や現地でのアドバイスをいたします。

※派遣総数200箇所を予定。(6-9月 70箇所、10-12月 90箇所、1-3月 40箇所)

申込みができる方 農業者やその関係団体、地域で活動している(またはしようとしている)住民・団体のみならず。
※企業、社会福祉法人、NPO、学区、自治体等も含まれます

派遣回数 3回まで(複数回の場合はその都度申込みをしてください。)

費用等 専門家への謝金、旅費(片道50km以上または1000円以上の場合)を当センターが負担します。

※内容等によっては依頼者に費用の一部を負担していただく場合もあります。(申込手続きの際にご案内します。)

申込方法 当センターホームページにアクセスしていただき、
①入力フォームによりお申し込みいただくか、
②申込書をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、EメールまたはFAXにてお申込み下さい。
※申込書受付後、ご依頼内容の確認等のご連絡を致します。

申込期限 原則として実施日の2週間前まで
※最終受付:2020(令和2)年2月29日

派遣内容 以下のようなテーマについて、ご依頼(申込)内容に応じた専門家を派遣し、勉強会等での説明やアドバイスをいたします。
(1時間程又は2時間程度)

- ◎まちづくり 農住調和のまちづくり、新しい都市農地制度、公園と緑
- ◎市民利用 市民農園、コミュニティ菜園、食農ライフ
- ◎教育・福祉 高齢者・生きがいづくり、障害者福祉等、学校教育等の食育
- ◎都市農業 6次産業化/地産地消、新規就農支援や耕作放棄地対策、入園方式等の農業経営
- ◎その他 税制、農業祭等のイベント、「農」の機能発揮に関するテーマ

申込み・問合せ先 一般財団法人 都市農地活用支援センター 相談部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル4F
TEL:03-5823-4830 FAX:03-5823-4831 E-mail:katuyou@tosinouti.or.jp

<http://www.tosinouti.or.jp>



取組事例紹介サイト
「都市と農の共生」のお知らせ

都市農業が有する
様々な機能発揮の
取組事例をHPにて
紹介しています

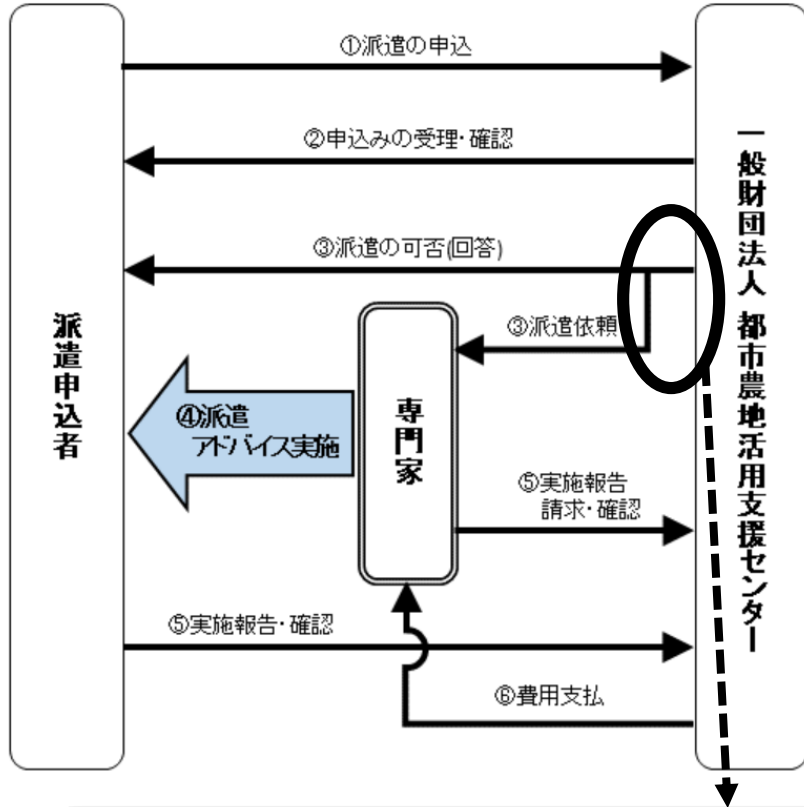
<http://www.tosinouti.or.jp/living/caselist.html>



関係協力団体として首都圏土壌医の会が登録されています

本事業は、農林水産省の「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮支援事業)」として実施されています。

専門家派遣までの流れ



この時に首都圏土壤医の会へ
会員についての問合せがあります。

専門家派遣申込書の記入例

別紙2 アドバイスを希望する内容及び活動エリア等

団体名称	名称	〇〇〇の会
	法人区分 (NPO、社福法人、会社、グループ等)	NPO法人
活動内容	目的・テーマ	団体の沿革、現在の概要等を記載 団体の活動目的などを記載
	経緯・活動年数・人数等	
アドバイス	内容 (期待するポイントを明記)	(例) 当団体として、今後、地域の高齢者を対象に生きがいや健康をテーマとした企画に取組みたいので、農福連携に詳しいアドバイザーの方に、様々な取組み事例について学ぶ勉強会を行いたい。 今回の活動対象となる具体的な農地等がある場合は記載
	農地等の概要 面積㎡及び農地、宅地、屋内で該当するものに○ (農地は該当種別に○)	面積:約 _____㎡ ・農地 ・宅地 ・屋内 (屋上含む) 【農地種別】・生産緑地 ・一般の市街化区域内農地 ・市街化調整区域農
◎特定の専門家を希望する場合 所属、氏名	知合った会合、紹介者等を具体的に記載	首都圏土壤医の会 ○○ ○〇氏
連絡先	(電話) (メールアドレス)	希望するアドバイザーがいる場合は連絡先を必ず記載すること
団体との関係、知合った契機		

申込書 (別紙2) のこの欄に
首都圏土壤医の会 ○○ ○〇氏
と書いてもらう

⑥費用については業務時間 1 h 程度 (謝金15,000円)、2 h 程度 (謝金25,000円) と交通費が支払われます。(首都圏土壤医の会は関知しません)